

平成21年度高齢者虐待対応状況について

平成22年7月

大阪市 健康福祉局 高齢福祉担当

大阪市における高齢者虐待の状況（平成21年度 対応状況）

養護者による高齢者虐待の現状について

- ・平成21年4月1日～平成22年3月31日の間に新たに受理した事例（虐待への対応状況については、平成21年度以前に受理した事例を含む）
- ・相談・通報受理機関は、最初に通報等を受けた機関

1 相談・通報対応件数

相談・通報件数、そのうち虐待と判断した件数ともに20年度より減少している。その要因としては、支援が必要なケースに対し、早期に関係機関が適切に関わることができるようになってきているからだという現場の話も聞いているが、今後しばらく推移を見守っていく必要がある。

21年度	保健福祉センター	地域包括支援センター	合 計	18年度	19年度	20年度
相談・通報対応件数	163件	298件	461件	392件	416件	491件
うち、虐待と判断した件数	123件	217件	340件	329件	297件	355件

2 相談・通報者（重複あり）

相談・通報者としては、「介護支援専門員・介護保険事業所職員」が247件(50.8%)と最も多く、次いで「警察」50件(10.3%)、「被虐待者本人」41件(8.4%)、「家族・親族」が39件(8.0%)の順となっている。

「介護支援専門員・介護保険事業所職員」は地域包括支援センターへ、「被虐待者本人」「家族・親族」「警察」は区保健福祉センターへ通報する件数が多いという傾向がある。過去と比較しても、通報者の傾向に大きな変化はない。

21年度	保健福祉センター		地域包括支援センター		合 計		18年度	19年度	20年度
介護支援専門員・介護保険事業所職員	23件	13.2%	224件	71.8%	247件	50.8%	191件	226件	246件
近隣住民・知人	13件	7.5%	15件	4.8%	28件	5.8%	43件	20件	35件
民生委員	4件	2.3%	2件	0.6%	6件	1.2%	11件	9件	8件
地域ネットワーク推進員	0件	0.0%	11件	3.5%	11件	2.3%		11件	7件
被虐待者本人	30件	17.2%	11件	3.5%	41件	8.4%	52件	52件	48件
家族・親族	29件	16.7%	10件	3.2%	39件	8.0%	37件	41件	35件
虐待者自身	3件	1.7%	5件	1.6%	8件	1.6%	11件	5件	4件
保健福祉センター職員	13件	7.5%	5件	1.6%	18件	3.7%	16件	11件	31件
警察	47件	27.0%	3件	1.0%	50件	10.3%	41件	50件	53件
医療関係者	7件	4.0%	18件	5.8%	25件	5.2%	21件	26件	30件
その他	4件	2.3%	8件	2.6%	12件	2.5%	15件	16件	16件
不明（匿名を含む）	1件	0.6%	0件	0.0%	1件	0.2%	1件	0件	2件
合 計	174件	100.0%	312件	100.0%	486件	100.0%	439件	467件	515件

・以下、虐待と判断した件数の内訳（３～９）

- ・平成２１年度以前に受理した事例を含みます。
- ・夫婦等への虐待を１件としているため、件数と人数の合計は一致しません。

３ 虐待の内容（重複あり）

虐待と判断した件数について、虐待の内容をみると、「身体的虐待」が193件(40.2%)と最も多く、以下、「心理的虐待」110件(22.9%)、「経済的虐待」93件(19.3%)、「介護・世話の放棄、放任」82件(17.0%)、「性的虐待」3件(0.6%)となっている。

20年度と比較すると、「経済的虐待」より「心理的虐待」のほうが件数が多くなっている。

	18年度		19年度		20年度		21年度	
合 計	518件	100.0%	447件	100.0%	497件	100.0%	482件	100.0%
身体的虐待	212件	40.9%	187件	41.8%	218件	43.9%	194件	40.2%
性的虐待	4件	0.8%	2件	0.4%	0件	0.0%	3件	0.6%
介護・世話の放棄、放任	76件	14.7%	62件	13.9%	74件	14.9%	82件	17.0%
心理的虐待	114件	22.0%	112件	25.1%	92件	18.5%	110件	22.9%
経済的虐待	112件	21.6%	84件	18.8%	113件	22.7%	93件	19.3%

４ 被虐待者の性別

被虐待者の性別では、女性が264人(76.1%)と男性より多くなっている。
わずかではあるが、年々男性の割合が増加している。

	18年度		19年度		20年度		21年度	
合 計	340人	100.0%	297人	100.0%	359人	100.0%	347人	100.0%
男	67人	19.7%	61人	20.5%	82人	22.8%	83人	23.9%
女	273人	80.3%	236人	79.5%	277人	77.2%	264人	76.1%

５ 被虐待者の年齢

年齢別では、「70～79歳」が140人(40.3%)、ついで「80～89歳」が138人(39.8%)となっている。

過去との比較では、傾向に大きな変化はない。

	18年度		19年度		20年度		21年度	
合 計	340人	100.0%	297人	100.0%	359人	100.0%	347人	100.0%
65～69歳	44人	12.9%	26人	8.8%	34人	9.5%	41人	11.8%
70～79歳	141人	41.5%	132人	44.4%	160人	44.6%	140人	40.3%
80～89歳	122人	35.9%	109人	36.7%	138人	38.4%	138人	39.8%
90歳以上	25人	7.4%	27人	9.1%	27人	7.5%	28人	8.1%
不明	8人	2.4%	3人	1.0%	0人	0.0%	0人	0.0%

６ 被虐待者の要介護度

要介護度別では、「未申請・申請中」が69人(19.9%)と最も多くなっているが、認定済み者のうちでは、「要介護1」54人(15.6%)、「要介護3」51人(14.7%)、「要介護2」、「要介護4」とともに47人(13.5%)となっている。

20年度との比較では、被虐待者の要介護度について、「要介護1」の人が49人(13.6%)→54人(15.6%)と増加している。また、未申請の人が増加傾向にある。

	18年度		19年度		20年度		21年度	
合 計	340人	100.0%	297人	100.0%	359人	100.0%	347人	100.0%
認定非該当(自立)	10人	2.9%	4人	1.3%	4人	1.1%	5人	1.5%
要支援 1	23人	6.8%	17人	5.7%	29人	8.1%	15人	4.3%
要支援 2	13人	3.8%	12人	4.0%	24人	6.7%	27人	7.8%
要介護 1	53人	15.6%	44人	14.8%	49人	13.6%	54人	15.6%
要介護 2	42人	12.4%	40人	13.5%	52人	14.5%	47人	13.5%
要介護 3	48人	14.1%	47人	15.8%	59人	16.4%	51人	14.7%
要介護 4	34人	10.0%	38人	12.8%	50人	13.9%	47人	13.5%
要介護 5	19人	5.6%	28人	9.4%	28人	7.8%	31人	8.9%
未申請・申請中	86人	25.3%	55人	18.5%	62人	17.3%	69人	19.9%
不明	12人	3.5%	12人	4.0%	2人	0.6%	1人	0.3%

7 男女別介護保険認定済みの者の認知症日常生活自立度 (21年度)

認定済み者272人のうち、6割以上の167人が認知症の日常生活自立度 以上である。
20年度と比較して、認知症のある人が増加傾向にある。

	自立					M	あるが自立度不明	有無不明	合計
男性	18人	10人	26人	8人	5人	2人	0人	1人	70人
女性	44人	30人	66人	41人	15人	4人	0人	2人	202人
合計	62人	40人	92人	49人	20人	6人	0人	3人	272人
	22.8%	14.7%	33.8%	18.0%	7.4%	2.2%	0.0%	1.1%	100%

8 虐待者(重複あり)

虐待者は「息子」が140人(37.7%)と最も多く、次いで「夫」74人(19.9%)、「娘」67人(18.0%)の順となっている。20年度との比較では「娘」と「夫」の順位が入れ替わっている。

	18年度		19年度		20年度		21年度	
合 計	340人	100.0%	315人	100.0%	372人	100.0%	371人	100.0%
夫	69人	20.3%	57人	18.1%	65人	17.5%	74人	19.9%
妻	15人	4.4%	26人	8.3%	23人	6.2%	26人	7.0%
息子	136人	40.0%	118人	37.5%	141人	37.9%	140人	37.7%
娘	58人	17.1%	45人	14.3%	77人	20.7%	67人	18.0%
息子の配偶者(嫁)	12人	3.5%	13人	4.1%	13人	3.5%	18人	4.9%
娘の配偶者(婿)	4人	1.2%	3人	1.0%	5人	1.3%	4人	1.1%
兄弟姉妹	5人	1.5%	11人	3.5%	9人	2.4%	10人	2.7%
孫	14人	4.1%	17人	5.4%	14人	3.8%	11人	3.0%
その他	26人	7.6%	25人	7.9%	25人	6.7%	20人	5.4%
不明	1人	0.3%	0人	0.0%	0人	0.0%	1人	0.3%

9 虐待への対応状況

高齢者虐待に対する対応については、21年度中に虐待対応した403件中、165件が養護者（虐待者）との分離を行なっている。分離の内容は、最初にとった対応としては、「契約による介護保険サービスの利用」が53件と最も多く、次いで「医療機関への入院」が46件となっている。「やむを得ない措置(養護老人ホームへの措置含む)」は22件となっている。

養護者との分離をしていない対応状況については、「養護者支援」が104件と最も多く、次いで、「ケアプラン見直し」が55件となっている。

20年度との比較では、分離をおこなった対応が189件→165件と減少している。

立入調査については20年度は0件だったが、21年度は2件あった。

	18年度	19年度	20年度	21年度
1.虐待者との分離（最初に行った対応）				
合 計	132件	148件	189件	165件
契約による介護保険サービスの利用	34件	35件	47件	53件
やむを得ない事由等による措置(養護老人ホーム措置含む)	31件	24件	34件	22件
うち、面会の制限を行った事例	7件	7件	7件	6件
緊急一時保護事業・DV保護センター活用	9件	3件	14件	10件
医療機関への入院	35件	48件	65件	46件
その他	23件	38件	29件	34件
2.分離していない対応状況(重複あり)				
合 計	349件	510件	577件	302件
介護保険サービスの利用開始	41件	14件	20件	22件
うち、やむを得ない事由によるサービス措置	0件	0件	0件	0件
ケアプラン見直し	36件	44件	63件	55件
介護保険以外のサービスや資源の活用	22件	8件	9件	20件
介護技術等の情報提供等	27件	19件	20件	19件
養護者支援	45件	56件	109件	104件
見守り(観察のみ)	71件	54件	45件	47件
その他	107件	38件	31件	35件
立入調査の実施	0件	1件	0件	2件

10 区別状況（平成21年度）

	相談通報件数			相談・通報者(重複あり)												虐待の判断			虐待と判断のうち虐待の内容(重複あり)				
区名	保健福祉センター	地域包括支援センター	小計	介護支援専門員・介護保険事業所職員	近隣住民・知人	民生委員	地域ネットワーク推進員	被虐待者本人	家族・親族	虐待者自身	保健福祉センター職員	警察	医療関係者	その他	不明(匿名含む)	虐待と判断	虐待と判断せず	その他	身体的虐待	性的虐待	介護等の放棄等	心理的虐待	経済的虐待
市合計	163	298	461	247	28	6	11	41	39	8	18	50	25	12	1	340	124	1	193	3	82	109	93
北	2	7	9	7	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0	0	8	1	0	4	0	3	2	0
都島	2	4	6	4	0	0	0	0	1	1	0	1	0	0	0	5	1	0	2	0	2	0	1
福島	4	8	12	5	1	0	0	3	1	0	1	2	0	0	0	8	4	0	5	0	1	4	3
此花	5	10	15	9	3	0	0	1	1	0	0	1	0	0	0	13	1	0	9	0	3	3	1
中央	4	2	6	2	2	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	4	3	0	4	0	0	0	0
西	3	6	9	4	1	0	2	1	0	0	0	2	0	0	0	7	2	0	6	0	1	1	0
港	1	12	13	10	0	0	0	0	1	0	0	0	1	1	0	11	2	0	3	1	3	2	3
大正	0	13	13	11	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	8	5	0	5	0	3	0	3
天王寺	4	7	11	6	1	0	1	1	1	0	0	0	0	0	1	9	2	0	5	0	1	1	3
浪速	5	5	10	7	0	0	0	2	1	1	0	0	0	0	0	3	7	0	2	0	0	2	0
西淀川	8	8	16	5	0	2	0	1	0	0	2	3	3	1	0	10	6	0	1	1	3	4	2
淀川	9	11	20	12	1	1	0	3	2	0	1	0	0	0	0	12	8	1	9	0	7	8	2
東淀川	7	11	18	9	2	0	0	4	0	0	1	2	1	0	0	9	9	0	4	0	3	5	5
東成	7	4	11	4	0	0	0	1	4	0	0	2	1	0	0	7	4	0	7	0	0	1	1
生野	12	16	28	15	3	1	0	1	3	0	0	5	1	0	0	22	6	0	13	0	3	6	7
旭	2	7	9	7	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	6	3	0	4	0	2	1	3
城東	2	13	15	9	0	0	0	0	2	1	1	1	2	0	0	16	1	0	12	0	4	7	4
鶴見	1	45	46	37	2	0	2	3	0	2	0	0	3	0	0	45	1	0	14	0	18	17	17
阿倍野	10	27	37	21	3	0	3	0	4	1	1	0	3	1	0	31	5	0	14	1	5	10	7
住之江	13	24	37	18	2	1	1	3	5	0	1	7	1	1	0	21	16	0	14	0	5	13	5
住吉	9	10	19	10	1	0	0	3	0	0	0	3	2	0	0	10	10	0	8	0	3	5	3
東住吉	8	17	25	10	1	0	0	3	5	2	1	3	0	4	0	22	3	0	13	0	3	3	10
平野	24	20	44	19	3	1	1	7	5	0	0	10	1	1	0	31	14	0	19	0	7	12	6
区社協		7																					
加美		9																					
長吉		4																					
西成	21	11	32	6	1	0	0	3	2	0	9	6	4	3	0	22	10	0	16	0	2	2	7
区社協		10																					
玉出		1																					

虐待の判断状況には、平成21年度以前の事例を含むため、相談通報件数とは一致しません。

養介護施設従事者等による高齢者虐待の現状について

・平成21年4月1日～平成22年3月31日の間に新たに受理した事例

20年度との比較では、22件→23件とほぼ横這いである。

1 相談・通報対応件数

	18年度	19年度	20年度	21年度
相談・通報対応件数	6件	15件	22件	23件
うち、虐待と判断した件数	2件	3件	4件	4件

2 相談・通報者

	18年度	19年度	20年度	21年度
合 計	6件	15件	26件	26件
当該施設職員	1件	3件	8件	6件
当該施設元職員	2件	2件	3件	2件
国民健康保険団体連合会	3件	0件	0件	0件
利用者・家族	0件	6件	9件	10件
その他	0件	4件	6件	8件

20、21年度は同一施設に対して、複数の通報があったため、「相談・通報対応件数」より「相談・通報者」の件数が多い。

3 事実確認状況

	18年度	19年度	20年度	21年度
事実確認を行なった事例	6件	14件	14件	17件
虐待の事実が認められ大阪府に報告	2件	3件	4件	4件
虐待ではないと判断	4件	11件	9件	13件
虐待の判断に至らなかった(調査中)	-	-	1件	-

4 事実確認を行った事例の養介護施設・事業所の種別

	18年度	19年度	20年度	21年度
合 計	6件	14件	14件	17件
特別養護老人ホーム(介護老人福祉施設)	2件	8件	4件	5件
介護老人保健施設	1件	1件	5件	3件
有料老人ホーム	0件	2件	1件	0件
養護老人ホーム	0件	0件	0件	1件
認知症対応型共同生活介護(グループホーム)	1件	1件	0件	2件
介護療養型医療施設	0件	0件	1件	1件
訪問介護事業所	2件	1件	1件	0件
居宅介護支援事業所	0件	0件	1件	1件
デイサービス	0件	0件	1件	3件
その他	0件	1件	0件	1件